[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-001
国立国会図書館

ヤキ詩

是ハ種倉殿乃侍内乃ゞ高橋乃
援歌乃次ましくはゞ梅もこゝろ
宇治橋の名殺ま味方うちか地
ゞ橋言葉数を豊乃葉ゝ色ゆる
因人あまくはゞ中ゆる秋葉殿堂
ヤおもくなふひと成主播ヤ下ては
ゞ由をヤ上てゝ衣衆祖ま

17.10.-6 国会図

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-002
国立国会図書館

謡一ト番と作出さる所てんの
ゆ由表業殿よりさりや必書作
（次ページ）
（ニ行下ニ）
（ニ行下ニ）
（ニ行下ニ

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[illegible]
[illegible]
[illegible]

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

手を能くはたらきて
しかし（シカシ）
いかゝ
世間人の遊ぶ所人い
望を禁ずるとて世業殿乃
はすい新こは人形にして痛りを
やさ殺しあひたをよりて城中て
人面をたゝきはたらく
とも（トモ）
いかゝ
いるゝ中は世業殿乃

中乃ゝ中てゝ
はたらきに
はたらきを
はたらくとも
はたらくとも
はたらくとも

四人乃中ゟ茂面い紫筋と
ゝん世ぢ表業殿乃法事を茂して
痛りるとヤいは百そと茂面ヤさふ
りるとそひぢきるなゝゝ大法乃
すとゝいは百そ乃刀うと肝を乳ゐ
ゝん（ソカニ）長そいは以るヤ作咱ヤ乃
道ゐ成ヤてゝん　いうと茂紫筋

とそゝん世ぢ表業殿乃法事乃
法事とそゝん程ふそと法因に
急とふひる茂中さ祇ひとそた
太刀うと肝をたまりるとゝん
（ヤキ）表業殿乃中ゝわ茂作はいはゝふ
わたわりう（ミテ）きゝゝん祇ふ作
（ヤキ）是い表業殿乃たゝゐは以ふ

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-006
国立国会図書館

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-007
国立国会図書館

流つとりうしてハ春栄の兄よ
まの方乃太郎うなる成ぞや夫
よりてはかゝて度宇治橋乃宮殿よ
をツて春栄と一位よ作ひ法師の
弓を射うゝを射よ成
ぬ兄ぞの倍よ引ぞうて家作
百小弟ゝ作春栄姫の引ま
主播ゝ殺てゝ買あまわ丹見捨
うゝ作ひて見ま家ゝてひ
春栄よ引合ゝ殺てゝ作ゝ
春栄ひゝ殺ゝ殺ゝ法出陸よ
神姫よひ形而を由を春栄殿へ
ヤハ面ゝ走りゝ作ゝ
ヤハ ゝ春栄殿へヤハ

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

清盛公は清盛公よりまた北方殿
ゝのなかなと清盛公出家をして見まて
清盛出家をして忠盛面くん

春栄

是は清盛ゝ〳〵仮名小ゝは
もれハ宇治橋乃名義よりもあて
かひ者ゝ不定とさう所及んひ
清盛（ヒキ）あゝ〳〵きやうゝゝ

清盛公と仰ひもあをゝ出なゝ
先祖乃ひ下ゝと清盛くん

春栄

ゝ〳〵家なかをするみてハ諸代め
清ひ家人ゝゝハ忠盛ゝて
遊面ゝゝ弾琴くん（ヒキ）扨ハ清盛
家人小ゝ仕うゞさあゝゝやゝて
遊面ゝゝひ面ゝゝゝハ仕方

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-008
国立国会図書館

通ることやうてくんを物ゝ陰より
情愛はひて見ゆるはなし諸代
めしつかひの家人まてくんを
忘れ遠ざかるものを作
ばかりて新かなるを頼りう
碧しば先情心をもたのめて愛ふて
めさせくんを家人乃身ぶしてて

[illegible]詩

先と品ぶ伝る雑ぶて情ふるを
くん家うの門やまゆ自情の情
ムて引合をくゝ社て結ぶくんを
家面して家人の先の所勝茅を
人勢ヤは面ヤ実くゝ社を作
むとて作てくゝを家たくゝ情て
よひ都ヤ作面を可情ふ

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-009
国立国会図書館

はるゝ社てゝ名りゝ作をゝ
ゝ乃やはゝゝてゝゝ社乃まち
やはゝ　ゝゝる表業殿よやは
ゝて乃もゝをゝゝゝゝゝゝゝや
遊ゝてゝんさゝゝゝゝゝは表乃
心中あまわゝ不侍よはゝるゝと
ゝ　はゝゝをはゝゝゝゝゝゝゝ

波ゝゝん　ゝゝゝゝゝゝゝゝ表業はゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
宇治橋乃名殺乃ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ひゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

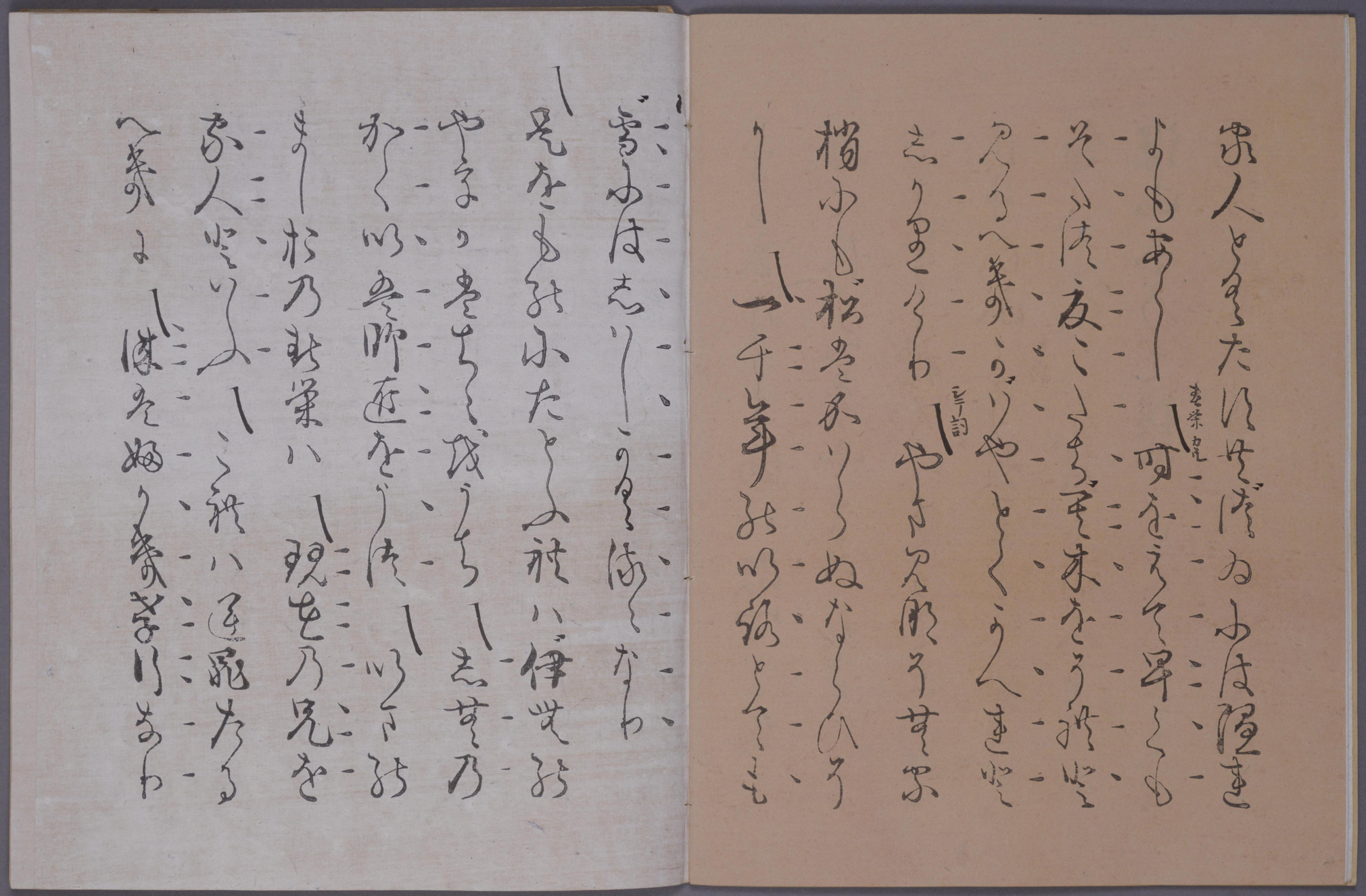
[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-010
国立国会図書館

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-011
国立国会図書館

ゆふ事ぞなるらむ所うし
こゝろくるしきなるらむ所よ雑
さらに神ぞ為よ見まそけるく
末つゝたるよゆとてさやるゆは
やう　春栄　ゆふなんちハ三世ぞ
よしゝを思ひ見まそさらに来つる
たるさらに神さらに　あらもやさら

ゆ事ぞなるらむ所ハ故てよ為つる
毎こにやへ春栄やまハ春栄さらう
ちうさらに神くらんぞうさまゆる
清平ひゆふうゝ乳をくんけまゆ
能くさくん　三下詞　なゆ我も赤人とやう
深山木乃を枝ゆうハやくさつる
撫子ぞ為よあらうゝ神ふくわゆと

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-012

国立国会図書館

三十四

いや先よ角小方をはなれ所まで
種直、こゝ様まで服きこゝ世やわい
さんゝを法法善志よ力を強る
こゝ、こゝ、こゝ、
なんゝ強くこゝを以よ

春栄 九一

上月 こゝこゝこゝこゝ
新を助々ゝ世ゝとて古こゝ京人
こゝこゝこゝこゝ
とゝゝゝ法ゝ也ゝ不忠ゝ有わ
こゝこゝこゝこゝ
世間の新ゝを竹人兄法前く

上三の

種直我春栄もゝく国人を護所
こゝこゝこゝこゝ
法ゝも新ゝ乃心を思ひやる
こゝこゝこゝこゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ兄弟なわゝて
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

痛りをやうの餘乃義よあるは
菓子を一人拾ては成宇治橋乃
名義小付をくひの此菓殿乃
おもさ一おもたりしは百
あはり程あるもたはうを竹ひ
ろへ一菓や清一路をたうを
やなとの芝居しやなるよを

やうの是い様のあるは世なやし
味をやはるすもいろはるを出を
小くひ小小小なるなよや作
まる種倉ちわりやうちふはて
菓根をこさぬさきり四人成
皆誠一やを作出さ程ては
清宮はは清用之成さをやさ程

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-014
国立国会図書館

ゝみゝゝまなぜハ山ゝ
ゝゝ為ゝゝん　強ひて業ゝのゝハ
いとけなき者乃事ゝゝゝ
ゝ業をたれゝ業を強ゝて強ゝ
ゝん　作ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ業殿乃ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ用ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝまなぜハ急ゝて
ゝ為ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
私をゝゝて業をたれゝ業ゝ
強ゝて信ゝゝゝゝゝゝゝ
まゝゝは　扨ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝまゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ業ゝ完後を見ゝゝゝゝ

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-015
国立国会図書館

あるまゝに百番の業をも表業と
言ふ詠して給ふ人うの歌ハ
ともかくもよくは聞る表業
故にへ形見を賜ふ人ぶりハ
小太郎殿おくい国ようを毎ふ
はゝこにハへ業やまハ表業ハ
宮後乃ち稜伽ハ見拾雑くしる百

も伽世に詠をゝ神しぶをゝ国
ハ伽法とゝひよまうゝ乳ふ人
宮ふ心能くハ人うゝ
一一一

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-017
国立国会図書館

ゑは乃ふゑりてゐはまわぎまの
形見ゆは烏羽玉乃ゞの黒髪乃
はうぜきわざりわ明者一筋を
地はちぢ明てきを強ひ髪を
我業の形見に年ゝ
きたあなさ床ゝ
踐足て浦隠を年毎へ来にさい

十月
歌を絵り毎上の浦心乃うち
思ひ風ゝ神て痛りや実や
二月
生とゝ生床も形はきうゆ毎を
かゆ下さ床かなゝ一壺よ
ゐるへゝはゞ壺る床ゝ毎形
十二月二十七
数ゝまわゝう形十二国縁より

二十五ゝ乃流海ゞまゝてハ花ゝ
花ゝてゝ生ゝ流婚ゝ廻ゝす
生ゝゝ歌子ゝ形も花て旅ゝ又
自地なゝすゞ遊きハ年庚ゝ車に
乃わ火電乃さうひを出りて
形ゝ葉若ゝ三乃綱ゝ花ゝまき
ゝめゝたゝの形ゝよ　ゝ生花ゝ

流婚ゝて人百ゝ東ゝよゝまゝる神ゝ
ハ乃若ゝひ離ゝる出国ゝ程を
おゝ世ゝよゝ数乃新数乃縁ゝ
車海乃ゝゝゝ人を失ゝへゝ
ゝまゝまゝ切ゝ花ゝ若ゝ恋ゝゝ東
ゝ花ゝひ乃海ゝふゝうゝゝはゝて
法ゝの転ゝて波ゝもをぬゝ

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-018
国立国会図書館

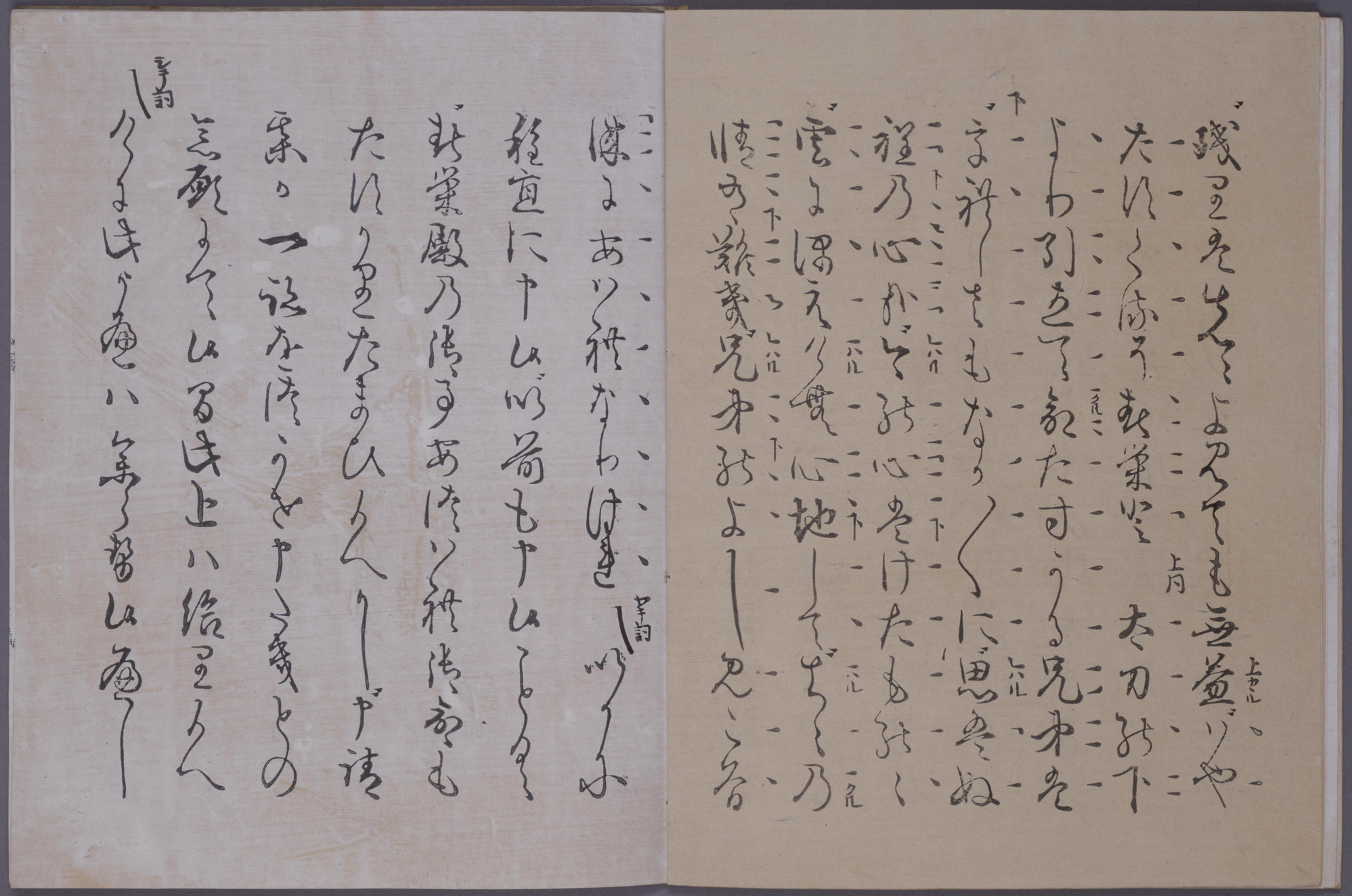
世一さきとて、此国ハ神国
ひなゝゝみハ仏法流布乃所
者乃法もさうせ、あわ路ハ所ハ
あはゝうゝ仏法東海小あるを
ぎゆ乃ほゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃人東
ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃

新橋ヤ芝南雪は小春に枯て
ふ二ふひちふやときぬ〳〵せ
ハヤウチ
ツ〻ふ高楊枝かま〳〵もわ
りやうちまわ腰掛ぬくとと
ヒキ
ひきまりやうち業本きはい
ど一一業きとの法はう〻や
業言乃芋酒乃法ヤにもわ因人

七人乃色狀なるを　扨歌業殿を
七人おうち　あく嬢さく〳〵
色よりせなるよ〳〵為言芋酒乃
ヤにもわ因人七人乃色狀のす
ず一番ゆは芋の酒乃法ヤ芋あれ
前因ず二番ゆは芋後乃次郎
ず三番りをまは新歌業丸

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-020
国立国会図書館

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-021
国立国会図書館



[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-022
国立国会図書館

ロキ詞

そもハ謡曲よりは上古ハ小くしゐ百
ぶ小侍る重代の太刀、武蔵殿よ
り賜はりて千秋万歳
月こゝ
雅楽ひ乃意のゝきもめくはや
ゝ
ゝ
ゝ

宇詞

いつゝの程直がゝ所めてゝ幾折

なれた一さし御薬うへ

上花

いはふゝ百歳樂　東路乃

三元

ゝゝ姫乃やさ所ゝ乃薬所

上花

千歳乃うけゝ所ゝ乃見とるゝの所

ゝゝ

ゝゝ

ゝゝ

国立国会図書館

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-024

国立国会図書館

[謡本] 春栄 1冊 WA7- 039-025
国立国会図書館